



2024年2月14日

各位

会社名 株式会社あかつき本社
代表者名 代表取締役社長 島根 秀明
(コード 8737 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員社長室長 北野 道弘
(TEL 03-6821-0606)

2024年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日付け取締役会決議により、現在の業績の動向等を踏まえ、2023年5月15日に開示した2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)の連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することを決定しましたのでお知らせいたします。

記

I 業績予想の修正

1. 2024年3月期連結業績予想の修正(2023年4月1日~2024年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	税金等調整前 当期純利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	42,000	2,300	2,300	2,300	1,600
今回修正予想(B)	45,000	3,000	3,400	3,400	2,200
増減額(B-A)	3,000	700	1,100	1,100	600
増減率(%)	7.1	30.4	47.8	47.8	37.5
前期連結実績 (2023年3月期)	39,336	1,803	1,457	1,470	780

※「税金等調整前当期純利益」は、当社が重要視している財務指標のため、参考情報として開示しております。

2. 修正の理由

各セグメントにおける第3四半期までの状況及び通期見通し(今回修正予想)における前提は下表のとおりであり、これらの状況に鑑みて通期連結業績予想の修正を行います。

セグメント名	第3四半期までの状況及び通期見通し(今回修正予想)の前提
証券関連事業	<p>【第3四半期までの状況】</p> <p>基盤となる預り資産は、IFA部門を中心に資金導入が進み、87,707百万円増加し487,831百万円となりました。</p> <p>預り資産の拡大と良好なマーケット環境により、営業収益及び各段階利益において、前年同期を大きく上回る結果となりました。</p> <p>【通期見通し(今回修正予想)の前提】</p> <p>IFA部門を中心とした資金導入ペース、マーケット環境に大きな変化がない前提のもと、前回発表時に見込んでいた営業収益及び各段階利益は増加する見通しです。</p>

不動産関連事業	<p>【 第3四半期までの状況 】</p> <p>中古マンション買取再販・リノベーション事業においては、営業人員の拡大により仕入戸数・販売戸数はそれぞれ拡大し、営業収益は増加しました。一方で、資材の高騰等による利益率の低下もあり、各段階利益は前年同期並みの水準となりました。</p> <p>高齢者施設開発事業においては、2施設の売却が寄与し営業収益及び各段階利益は前年同期を上回りました（前年同期の施設売却はなし）。</p> <p>【 通期見通し（今回修正予想）の前提 】</p> <p>中古マンション買取再販・リノベーション事業においては、物件の仕入・販売環境に大きな変化がない前提のもと、前回発表時に見込んでいた営業収益及び各段階利益となる見通しです。</p> <p>高齢者施設開発事業においては、追加の施設売却は見込んでいません。</p>
---------	--

3. 将来予測の開示に関する考え方

証券事業の近年の拡大強化に伴い、グループ全体の営業収益・営業利益をはじめとした各段階利益の中での同事業の占める割合が大きくなっております。そのビジネスの特性上、株式市況等の影響による業績の変動幅が大きくなることから、当社グループ全体においても、単年度業績の振れ幅がこれまでよりも拡大し、今後もその傾向が強まっていくことが予想されます。

一般的に、証券事業を中心とする企業グループは、こうした理由から、単年度業績予想の開示を行わない傾向がありますが、当社では、投資判断に有用な情報提供を行うという観点で、単年度業績予想や中長期の経営数値目標などの将来の業績見通しを積極的に継続開示することを基本方針としております。

II 配当予想の修正

1. 2024年3月期配当予想の修正

	1株当たり配当金（円）		
	中間	期末	年間合計
前回予想 (2023年5月15日公表)	/	9円50銭	19円00銭
今回修正予想	/	11円50銭	21円00銭
当期実績	9円50銭	/	/
前期実績 (2023年3月期)	9円50銭	9円50銭	19円00銭

2. 配当予想修正の理由

上記Iに記載のとおり2024年3月期通期連結業績について、親会社株主に帰属する当期純利益の増加を見込んでおり、期末配当予想を増額し、1株当たり11円50銭（通期では1株当たり21円）といたします。この結果、連結純資産配当率（DOE）*は4.3%となる見込みです。

(参考：1株当たり配当金、DOE、ROEの推移)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
1株当たり年間配当金	18円	18円	19円	21円
DOE	4.1%	4.0%	4.1%	4.3%
ROE	10.5%	7.2%	5.5%	14.9%
配当性向	39.0%	55.0%	74.7%	29.3%

*連結純資産配当率(DOE) = 1株当たり年間配当金 ÷ 1株当たり連結純資産の期首・期末平均

3. 当社の株主還元に関する基本方針

当社は、株主還元に関して、安定配当の観点から、財務の健全性と事業資金の確保に支障を来たさない限りにおいて、DOEで年間4%以上の水準を維持し、また、単年度のROEが4%を上回る場合には、その超過する部分の一部または全部を原資とし、追加の配当支払いまたは自社株買い等による株主還元を行う基本方針を、2019年3月期より採用しております。

以 上